

2023年3月期 第1四半期 決算説明資料

2022年8月5日



証券コード：4461（東証プライム）
第一工業製薬株式会社

本日のアジェンダ



- 1. 2023年3月期 第1四半期 連結決算** **P.3**
- 2. 2023年3月期 業績見通し** **P.14**

1. 2023年3月期 第1四半期 連結決算のご説明

連結 業績の概要（前期比較）



増収減益：製品の価格是正が進み増収も、原材料価格の高騰が利益を圧迫

(単位：百万円)

	22/3月期 第1Q累計	23/3月期 第1Q累計	前期比増減	
			金額	増減率
売上高	14,413	15,441	1,028	7.1%
営業利益	1,094	291	△ 803	△ 73.4%
経常利益	903	377	△ 526	△ 58.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	490	98	△ 392	△ 79.9%

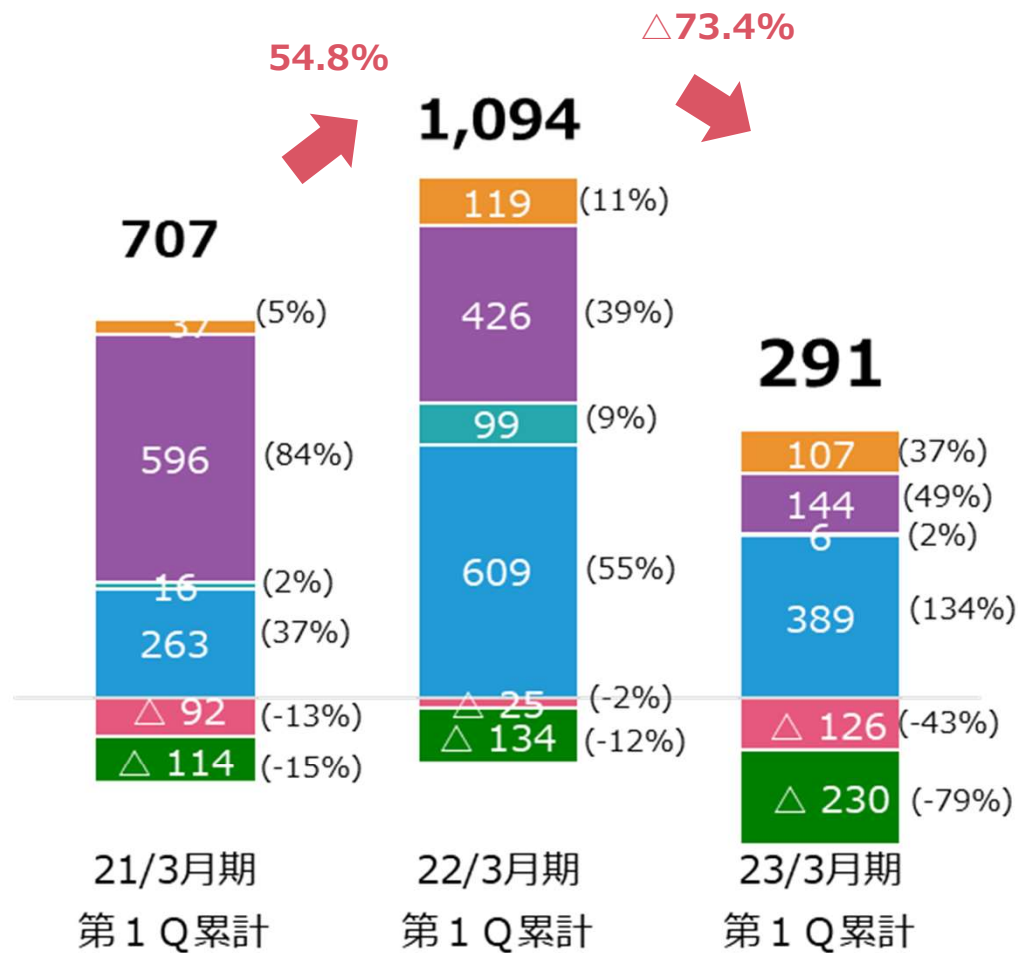
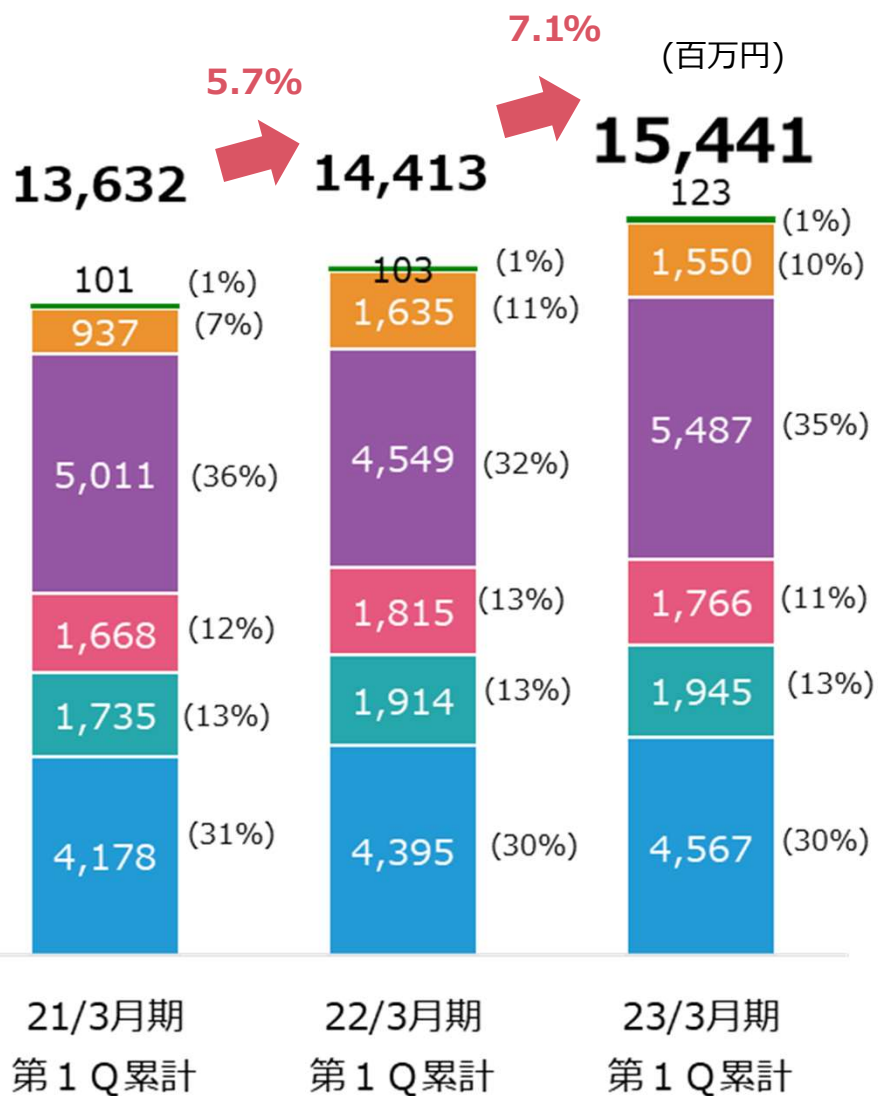
増収  売上高：海外向け難燃剤が大幅に伸長

減益  営業利益：原材料価格の高騰により収益性が低下、将来への投資となる研究開発費が増加

売上高

営業利益

() : 構成比



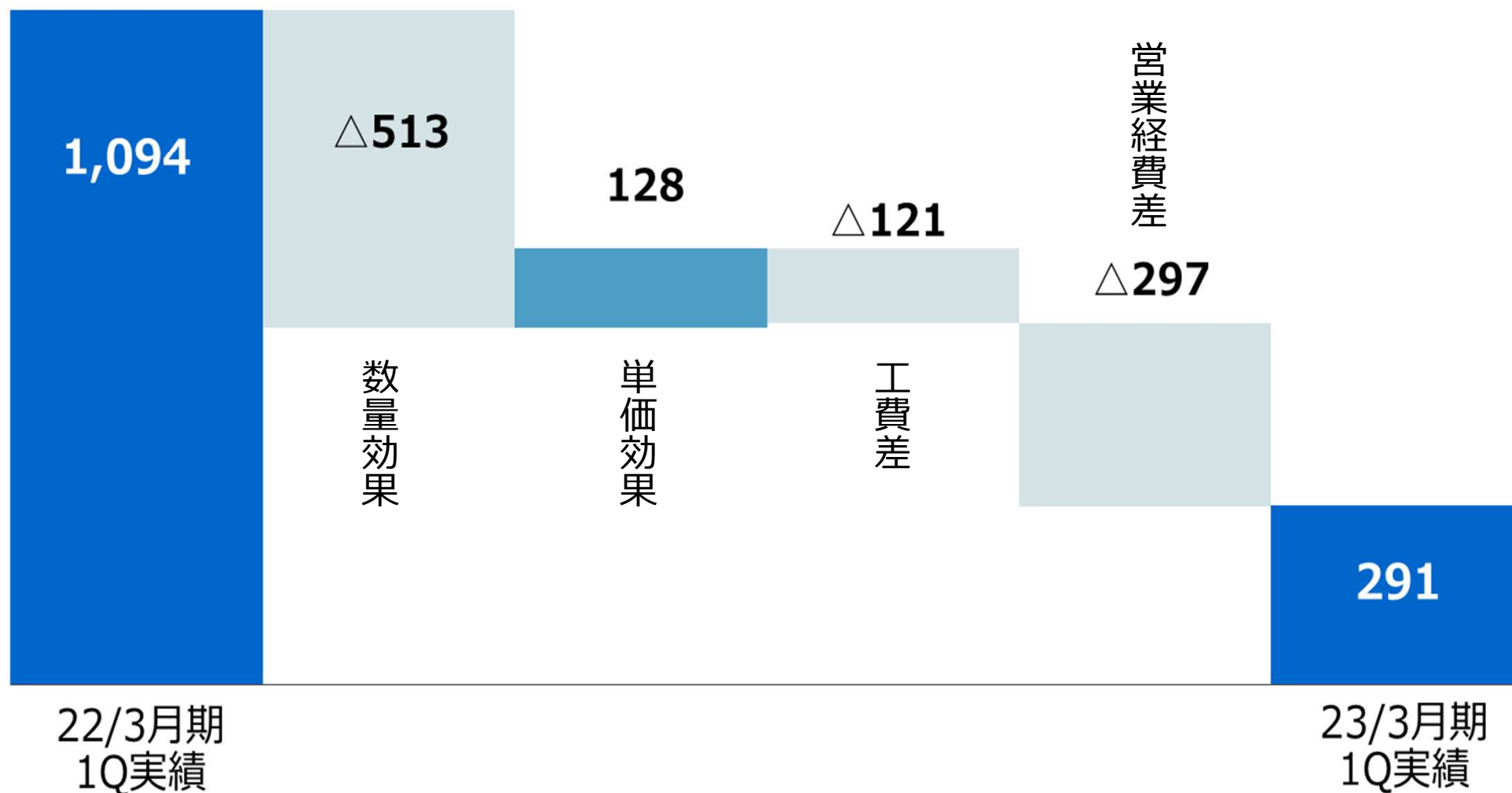
■ 界面活性剤 ■ アメニティ材料 ■ ウレタン材料 ■ 機能材料 ■ 電子デバイス材料 ■ ライフサイエンス

2023年3月期 第1四半期 営業利益増減分析

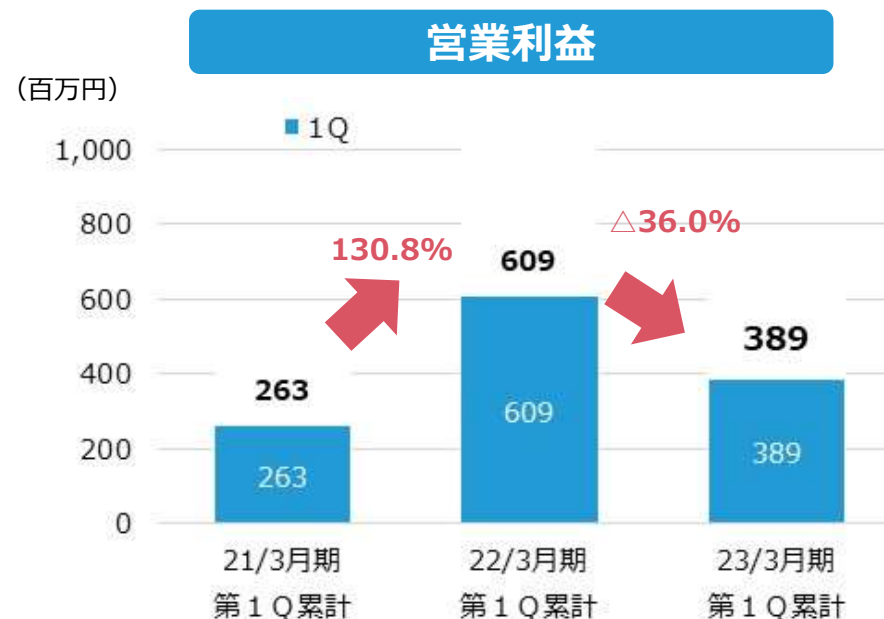
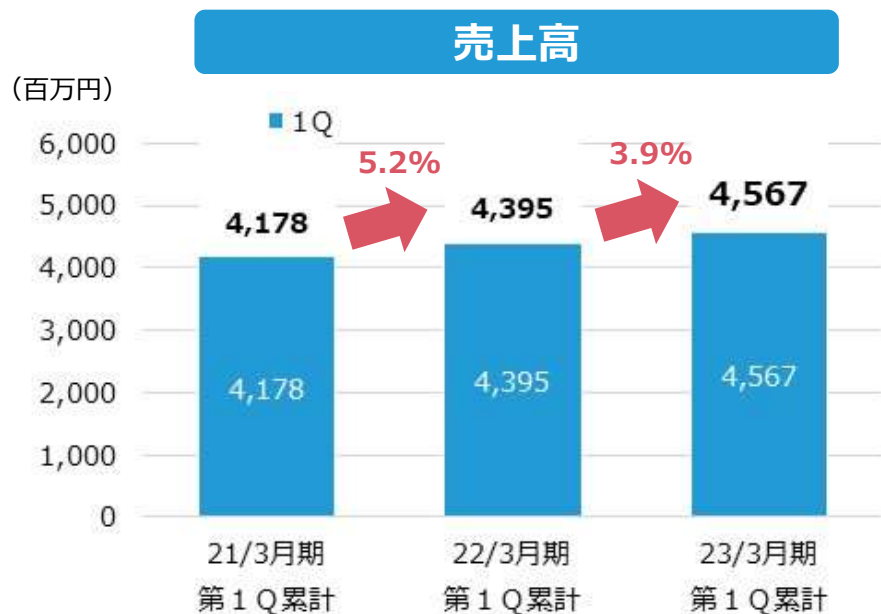


- * 界面活性剤、光硬化樹脂材料など販売数量減
- * 採算是正活動による収益性の改善
- * 工場稼働率が回復基調により増加
- * 販売活動及び研究開発費などの増加

(百万円)



1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。



売上高：総じて堅調に推移

- IT・電子材料用途、塗料・色材用途は低調、農業・農薬用途は堅調に推移
- 石けん・洗剤用途は大幅に伸長

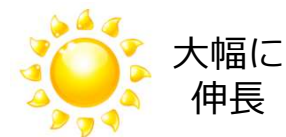
営業利益：減益

- 原材料価格の高騰による収益性減少

IT・電子材料用途



石けん・洗剤用途



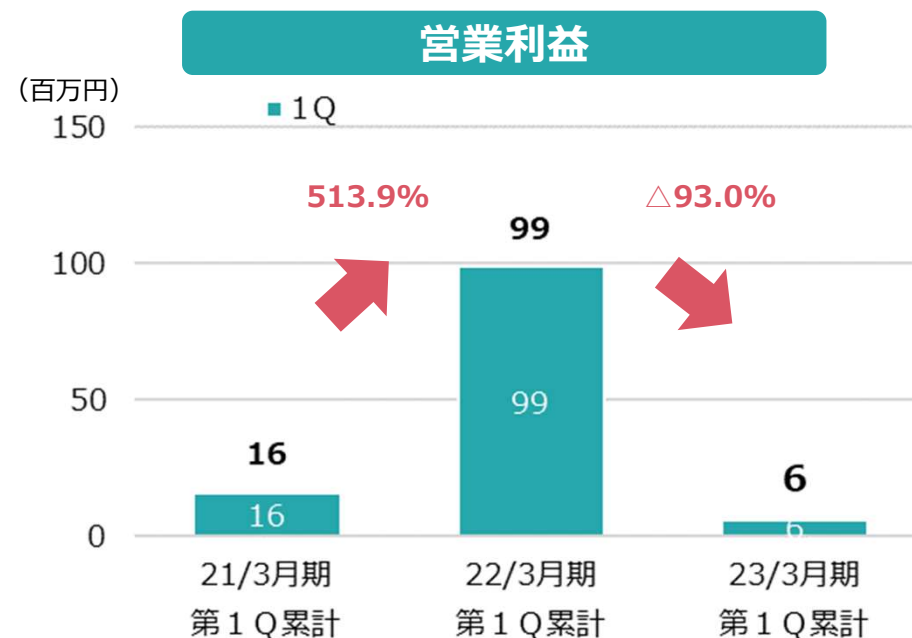
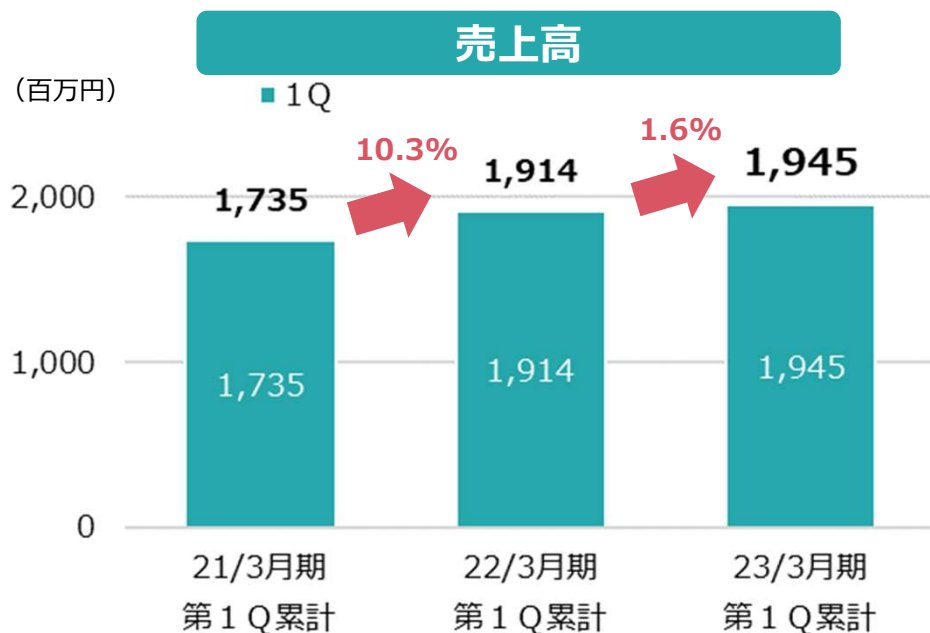
塗料・色材



連結 セグメント業績 アメニティ材料



生活環境において快適性を求める材料や周辺応用技術を提供している事業です。



売上高：総じて堅調に推移

- ショ糖脂肪酸エステルは、国内の食品用途は低調、海外の化粧品・食品用途は堅調
- セルロース系高分子材料はエネルギー・環境用途は堅調に推移

営業利益：減益

- 原材料価格の高騰による収益性減少
- 営業経費の増加

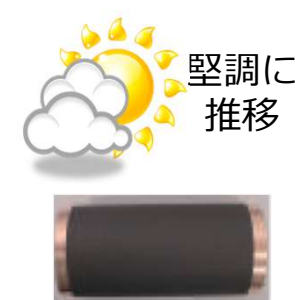
化粧品用途



食品用途



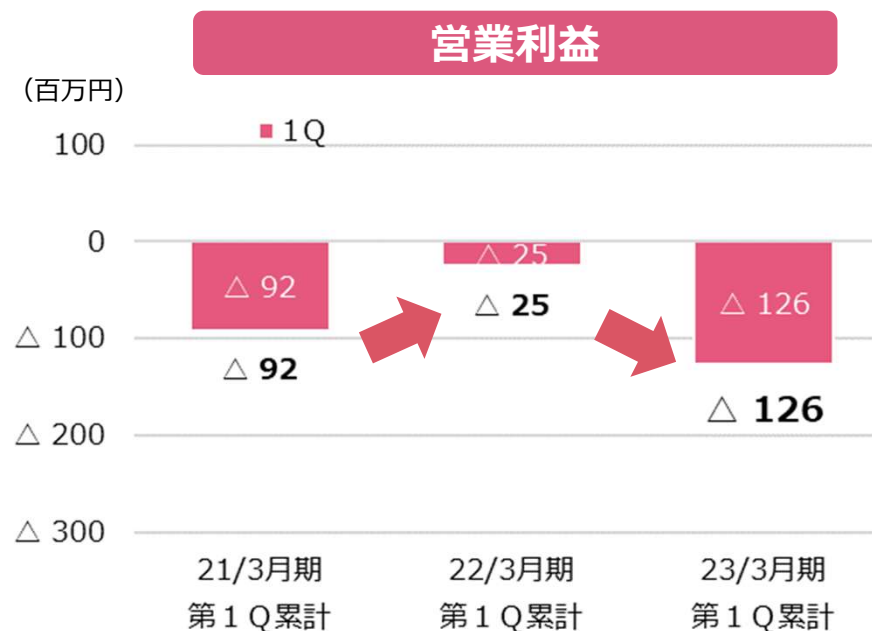
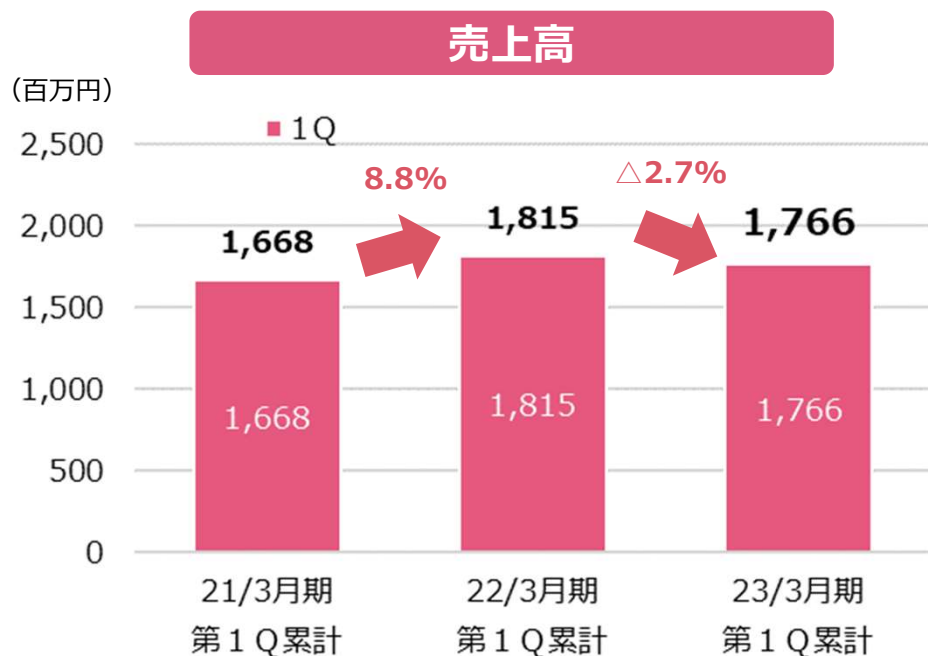
エネルギー用途



連結 セグメント業績 ウレタン材料



土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料などウレタン用原料を提供している事業です。



売上高：総じて低調に推移

- IT・電子材料用途は堅調に推移
- 土木薬剤用途は大きく落ち込む
- 合成潤滑油は堅調に推移

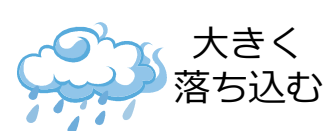
営業利益：営業損失

- 原材料価格の高騰による収益性減少

IT・電子材料用途



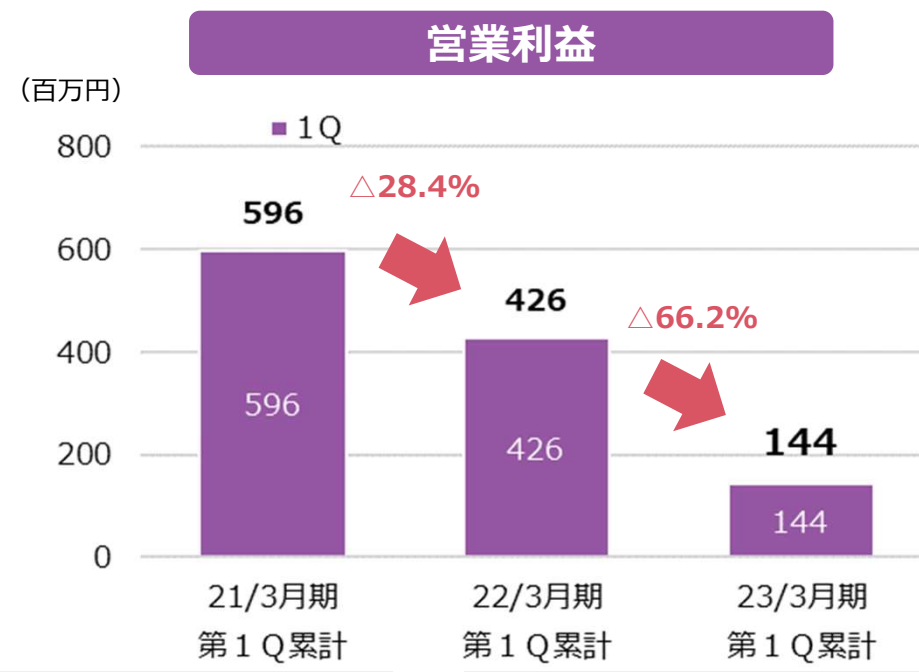
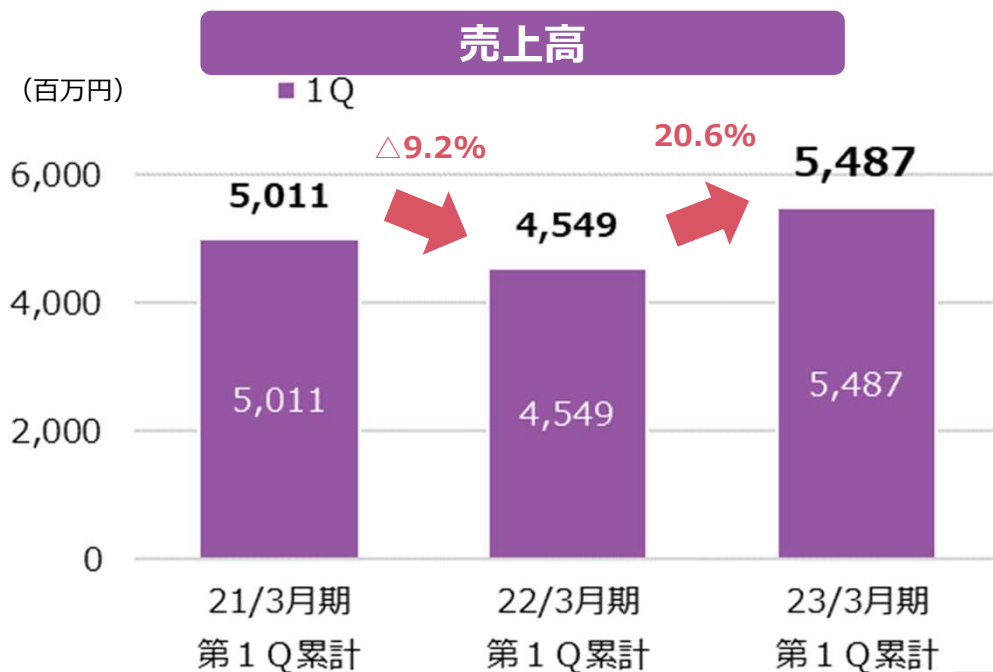
土木用薬剤:岩盤固結



合成潤滑油



家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。



売上高：総じて大幅に伸長

- 電子材料用途は低調に推移
- 難燃剤のゴム・プラスチック用途は国内は堅調に推移、海外は大幅に伸長

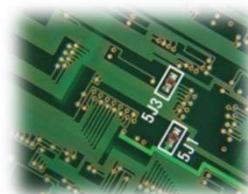
営業利益：減益

- 原材料価格の高騰による収益性減少
- 研究開発費を中心に営業経費が増加

電子材料用途



低調に推移



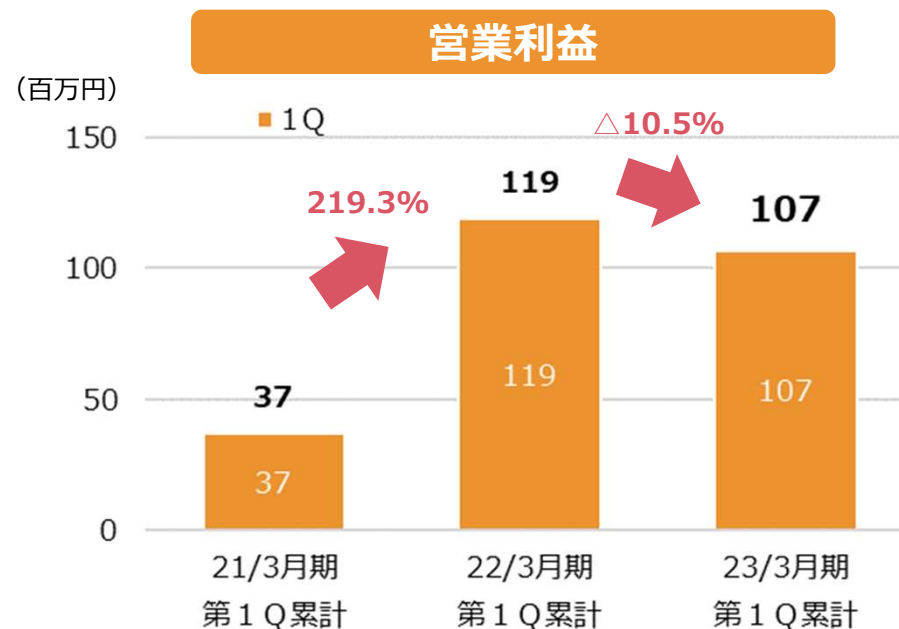
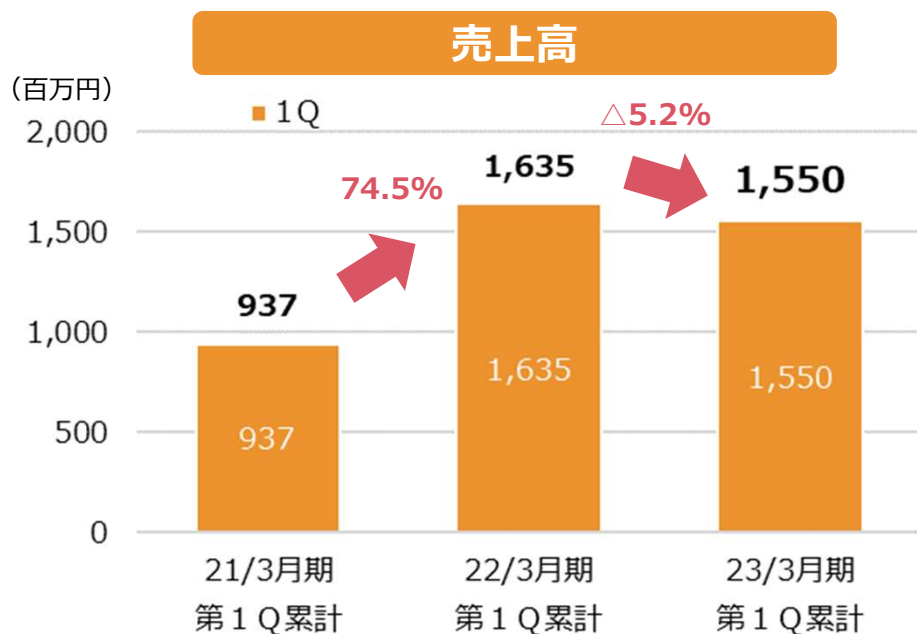
プラスチック用難燃剤



大幅に伸長



家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。



売上高：総じて低調に推移

- 太陽電池用途の導電性ペーストは低調に推移
- ディ스플레이用途のイオン液体は低調に推移

営業利益：減益

- 太陽電池用途、ディスプレイ用途の売上高が低調に推移

太陽電池用途



低調に推移



ディスプレイ用途



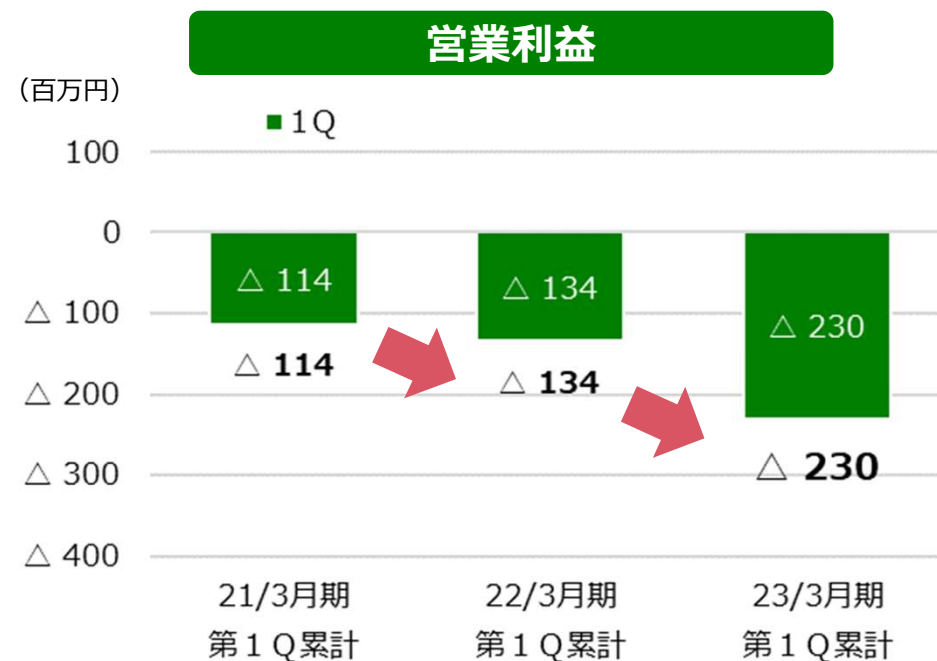
低調に推移



連結 セグメント業績 ライフサイエンス



天然由来の健康食品、天然物からの抽出・濃縮・粉末化の技術を提供している事業です。



売上高：前期と比べ19百万円増加

- カイコ冬虫夏草の販売は低調に推移
- 健康食品等の受託事業は堅調に推移

営業利益：営業損失

- 売上高は伸長するも、研究開発費を中心に営業経費が増加

冬虫夏草



健康食品等の受託事業



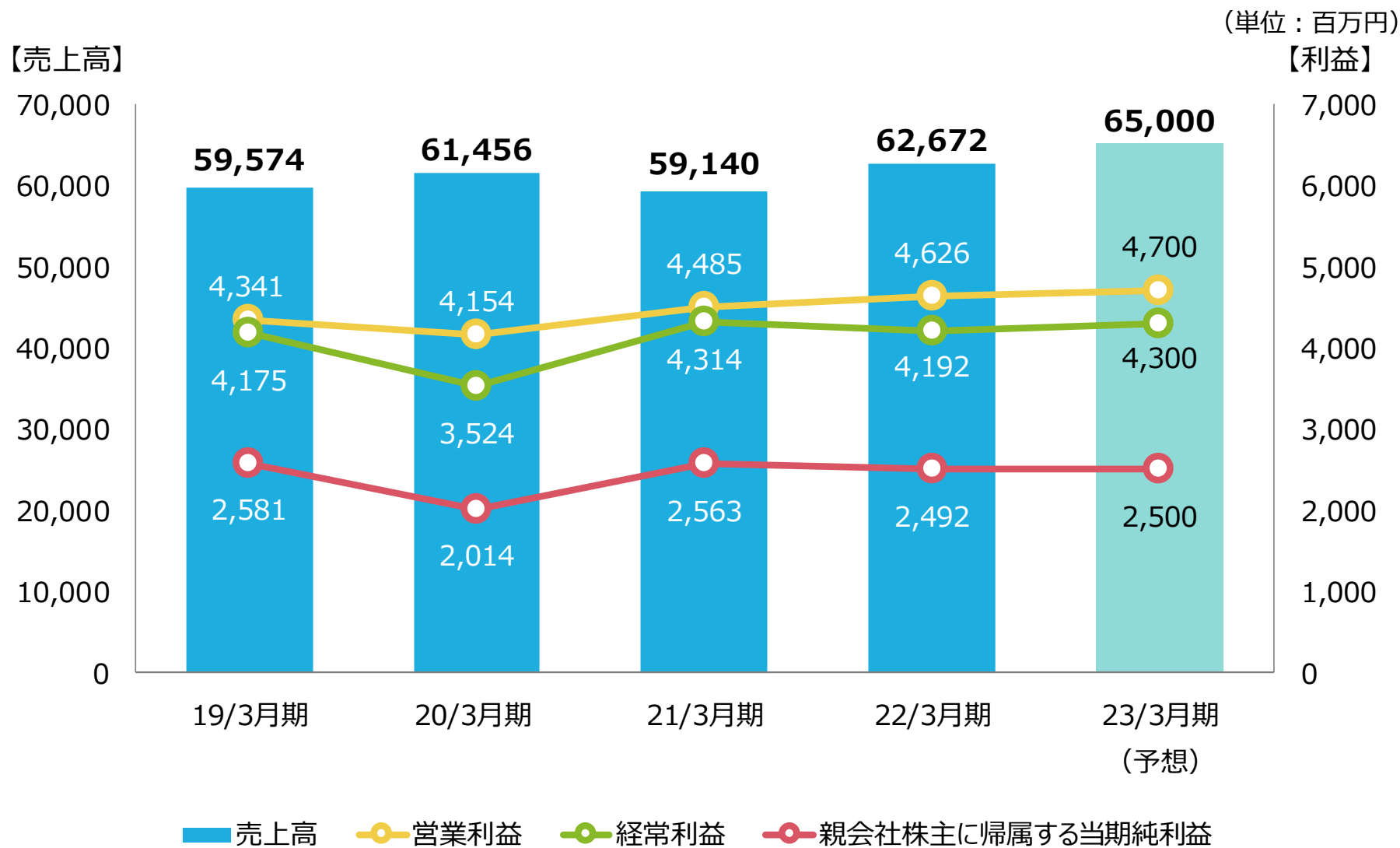
連結 連結比較貸借対照表の概要



(単位：百万円)




	2022年 3月末	2022年 6月末	増減額		2022年 3月末	2022年 6月末	増減額
流動資産	46,534	45,390	△ 1,143	流動負債	21,726	22,062	335
現預金	12,224	9,743	△ 2,481	仕入債務	10,634	11,085	451
売上債権	16,492	16,750	258	有利子負債	7,269	7,138	△ 130
棚卸資産	15,508	16,371	862	その他	3,822	3,837	14
その他	2,308	2,525	216	固定負債	24,359	23,409	△ 949
固定資産	39,935	40,459	524	有利子負債	23,603	22,695	△ 907
有形固定資産	33,358	33,760	401	その他	755	713	△ 42
無形固定資産	618	573	△ 45	負債合計	46,086	45,472	△ 613
投資・その他の資産	5,958	6,126	167	純資産	40,383	40,378	△ 5
合計	86,469	85,850	△ 619	合計	86,469	85,850	△ 619



2. 2023年3月期 業績見込みについて



連結 当社を取り巻く環境(市況)



分野	状況	2023年 3月期
自動車・二輪	半導体不足等の影響により、車両の生産が低調となり、多くの地域で納車までの期間が長期化。2023年3月期は海外のコロナまん延状況や半導体不足解消状況にもよるが回復基調と予測。	
インフラ (5G)	基地局設置は想定通り進んでいない。半導体不足に加え、部材の価格高騰が継続。	
インフラ (リニア新幹線)	大型プロジェクトは、当社計画より遅延。	

分野	状況	2023年 3月期
ディスプレイ	半導体不足の影響とパネルの在庫過多により、2023年3月期の前半は需要が減少する見込み。	
家電・住宅建材 (難燃剤)	<ul style="list-style-type: none"> ・主要用途の家電、AV機器向けの販売は、半導体不足の影響を受け低迷。 ・薄型テレビ生産は、需要低迷で6月以降急激に生産量が激減。 ・液晶パネル価格は、下落傾向。 ・国内住宅建材向け断熱材用途は、半導体不足による住宅用電気製品の在庫不足と価格高騰、輸入木材不足により住宅着工が低迷。上期は低調の見込み。 	

具体的な対策

- ①価格是正の継続と確実な原材料確保（安定供給）
- ②原材料価格の転嫁を迅速に実施（利益確保）
- ③投資効率の向上
（霞工場稼働率アップ、コストダウン、業務効率化、在庫調整）
- ④インスパイアード・パートナーとの取り組み加速、新規テーマ発掘

連結 セグメント別売上高予想



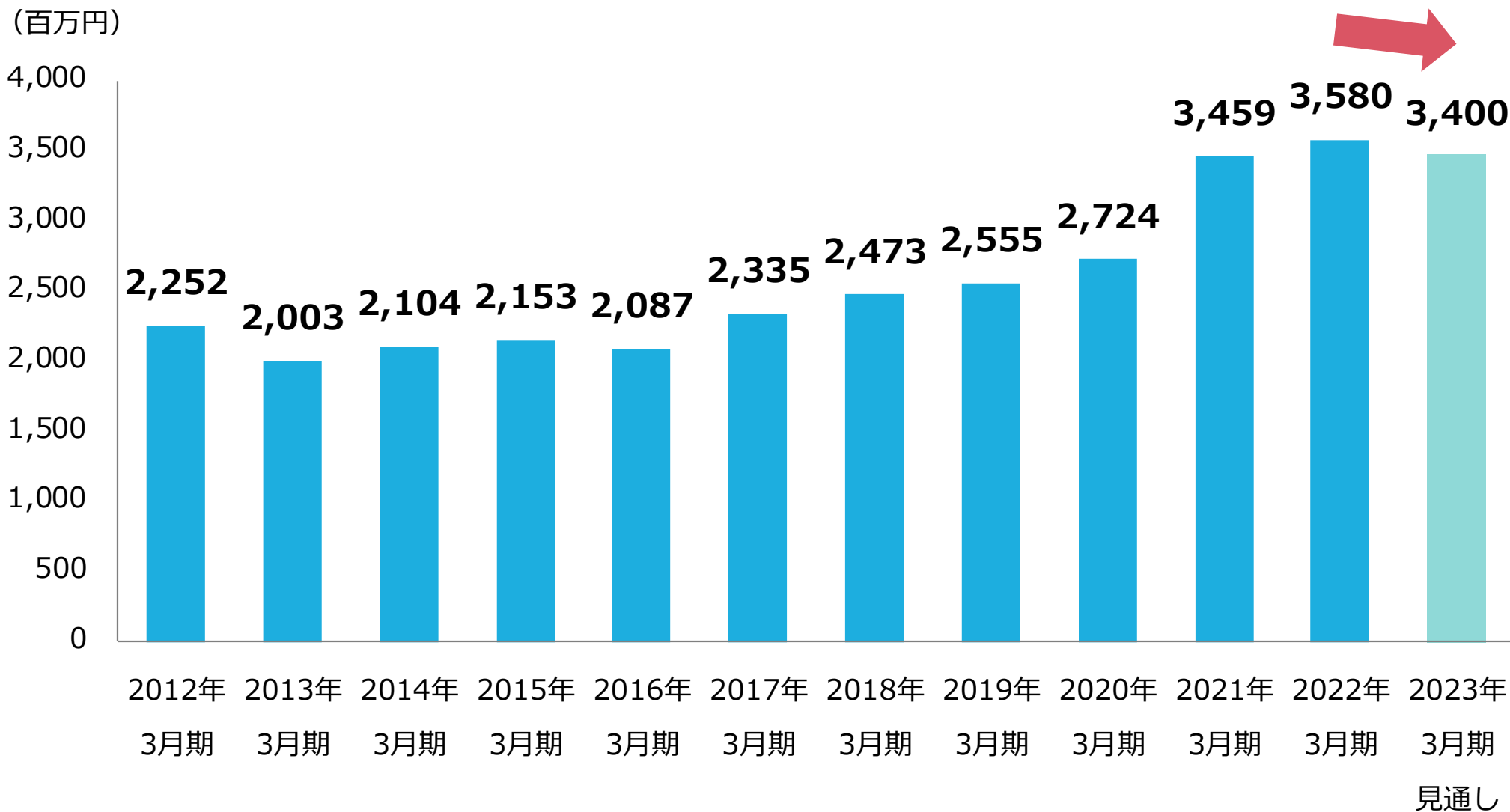
セグメント 単位：百万円	2022年3月期（実績）					2023年3月期（予想）					前期比増減	
	上半期		下半期	通期	構成比 （%）	上半期		下半期 （予想）	通期 （予想）	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
	1Q	2Q				1Q （実績）	2Q （予想）					
界面活性剤	4,395	4,668	9,500	18,564	29	4,567	5,082	9,650	19,300	30	736	4
アメニティ材料	1,914	1,943	4,233	8,092	13	1,945	2,154	4,150	8,250	13	158	2
ウレタン材料	1,815	2,419	4,060	8,294	13	1,766	2,033	4,000	7,800	12	△ 494	△ 6
機能材料	4,549	4,841	10,537	19,928	32	5,487	5,512	11,400	22,400	33	2,472	12
電子デバイス材料	1,635	1,997	3,684	7,316	12	1,550	1,649	3,500	6,700	10	△ 616	△ 8
ライフサイエンス	103	103	269	476	1	123	126	300	550	1	74	16
合計	14,413	15,974	32,285	62,672	100	15,441	16,558	33,000	65,000	100	2,328	4

連結 セグメント別営業利益予想

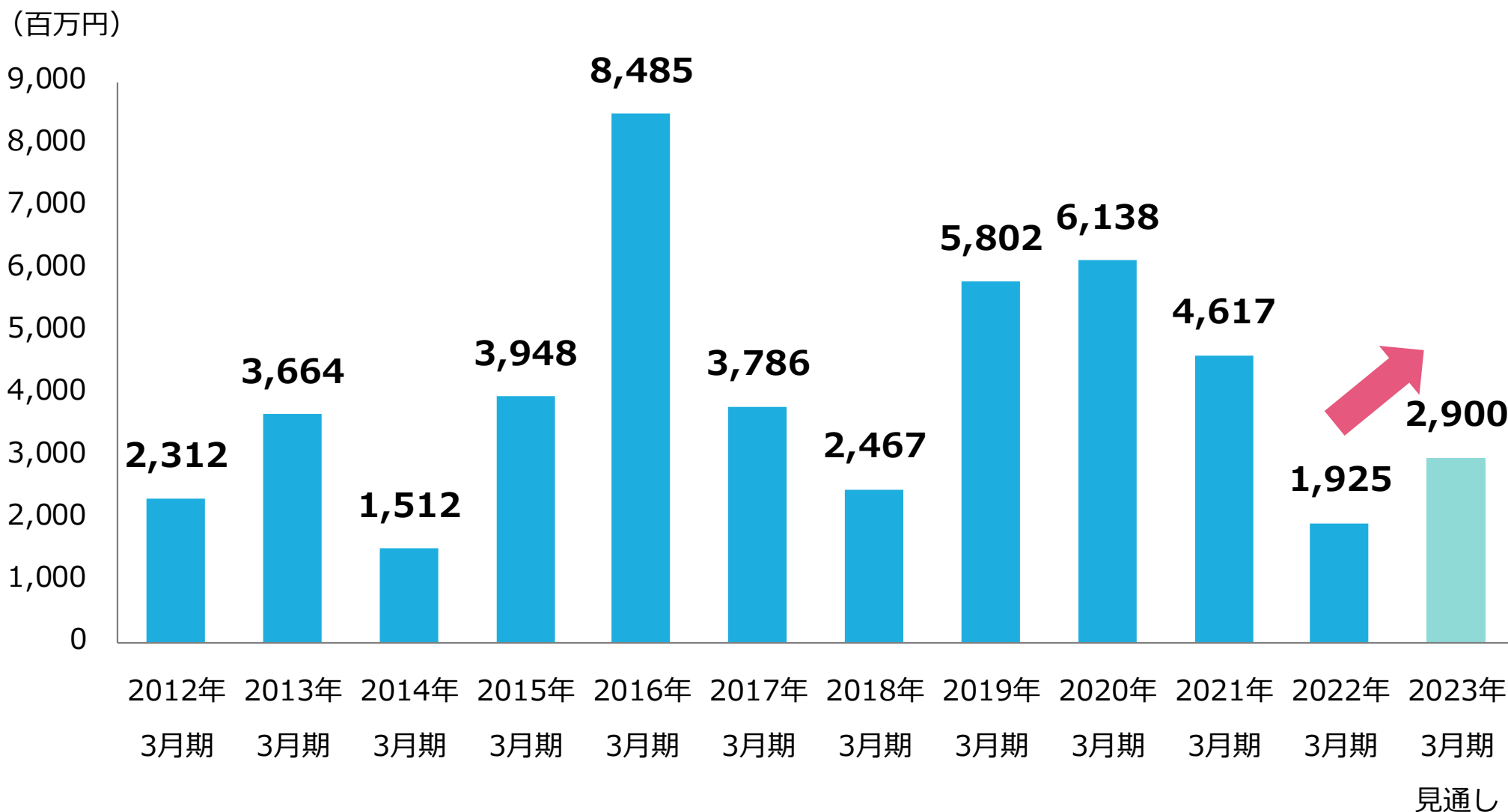


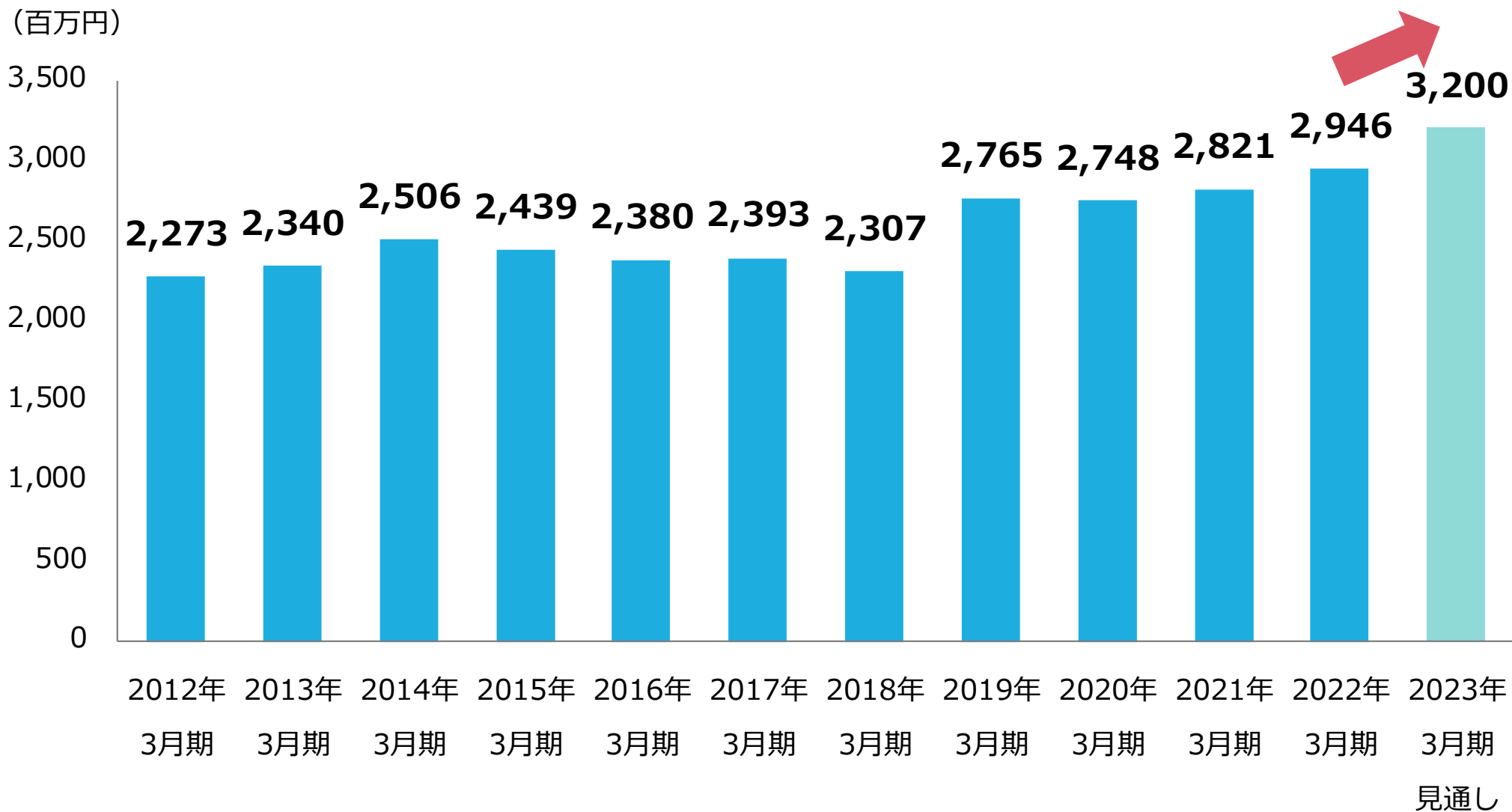
セグメント 単位：百万円	2022年3月期（実績）					2023年3月期（予想）					前期比増減	
	上半期		下半期	通期	構成比 （%）	上半期		下半期 （予想）	通期 （予想）	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
	1Q	2Q				1Q （実績）	2Q （予想）					
界面活性剤	609	678	1,189	2,476	54	389	860	1,470	2,720	58	244	10
アメニティ材料	99	138	329	566	12	6	293	200	500	11	△ 66	△ 12
ウレタン材料	△ 25	76	3	55	1	△ 126	116	40	30	1	△ 25	△ 45
機能材料	426	356	571	1,355	29	144	605	900	1,650	35	295	22
電子デバイス材料	119	241	354	715	15	107	242	280	630	13	△ 85	△ 12
ライフサイエンス	△ 134	△ 138	△ 270	△ 543	△ 12	△ 230	△ 209	△ 390	△ 830	△ 18	△ 287	53
合計	1,094	1,353	2,178	4,626	100	291	1,908	2,500	4,700	100	74	2

連結 減価償却費の推移



連結 設備投資額の推移





業績予想・事業計画に関する注意事項



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

広報IR室 IRグループ

TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp